



西新潟中央病院

## NST NEWS 第4号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2014年1月7日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線 1303

### NSTミニレクチャー 第4回 ～褥瘡の話～

月に1度の栄養の勉強、NSTミニレクチャーのコーナーです。第4回は、褥瘡のお話です。

#### 【適切な栄養管理は褥瘡の治療だけでなく、予防にも有効です】

##### ■褥瘡予防、毎日がんばっています！が。

褥瘡のリスクのある患者さんに対し、日々除圧や離床、スキンケア等の予防対策を実施されておられることと思います。それらと並んで重要とされる「栄養」についてははいかがでしょうか？意外と見落とされていたりはありませんか？あるいは、褥瘡が発症してしまってから、「栄養足らん！」と慌てていませんか？

##### ■低栄養は褥瘡の危険因子です。

言われなくてもとっくにご存知だと思いますが、栄養状態が悪いと、筋肉や皮下脂肪の減少・皮膚弾力性の低下・低アルブミンによる浮腫などにより褥瘡発症のリスクが高くなります。

##### ■予防のための適切な栄養管理とは？

まずは標準的な栄養評価と、個々の病態に応じた十分なエネルギーとたんぱく質の摂取が必要です。

通常の食事摂取のみでエネルギー量が不十分な場合は、補助的な経腸栄養剤の追加が有効です。

☆NSTでは必要エネルギー量・たんぱく質量の計算や病態に応じた栄養管理のアドバイスを行っています。

お気軽にご相談下さい。

(文責：7病棟看護師 米山紅)

### 補助食品のご紹介 ～アルジネード編～

今回のミニレクチャーに合わせて、当院採用の補助食品、**アルジネード**をご紹介します。

- ・1本125mlでエネルギーを100kcal、タンパク質を5g含んでいます。
- ・細胞の新陳代謝には**亜鉛**、皮膚の保護・健康維持には**ビタミンC**が重要ですが、アルジネードは1本で1日に必要な量を補給することができます。
- ・褥瘡を保有する方にオーダーされがちですが、褥瘡の発生予防にも有効です。特に皮膚が弱い方、発赤の起きやすい方はビタミン・ミネラルが不足している可能性がありますので、微量栄養素の補給にぜひご利用ください。



#### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今年は(まだ)雪も少なく、皆様良いお正月を過ごされたことと思います。

NSTでは今年もチームで力を合わせて低栄養の改善と栄養療法の啓蒙活動を進めていきます。よろしくお願い致します。

2014年1月 栄養管理室 澤田 内線1303

#### 第8回新潟NST研究会のお知らせ

日時：平成26年1月25日(土)14時30分～17時00分

場所：チサンホテル&コンファレンスセンター新潟

参加費：1,000円

各部門に詳しい案内を配布しておりますので、ご確認ください。